

第3回新発田駅前複合施設管理運営図書館専門委員会概要

日時 平成26年10月30日(木)

14時30分～16時30分

場所 図書館3階会議室

参加者団体

市からは、新発田駅前複合施設建設室と市立図書館職員計7人が参加、専門委員として13団体 13人から参加いただいた。

専門委員会の構成団体は、近年図書館と共同で事業実施を行っている17団体で、構成団体名は次のとおりである。

新発田市立図書館協議会

新発田市立図書館後援会

無門会

指人形かっぱ ― 【欠席】

おはなしぱたぽん

おはなしのとびら

小さな絵本の読み聞かせ アイリス ― 【欠席】

陽塾0254

新発田市立図書館利用者友の会

新発田市の図書館を考える会

新発田郷土研究会

新発田古文書解読研修会

新発田市立図書館豊浦分館

新発田市立図書館紫雲寺分館 ― 【欠席】

新発田市立図書館加治川分館 ― 【欠席】

新発田市立図書館五十公野分館

新発田市立図書館川東分館

― 委員会概要 ―

説明(事務局)

(1) 民間施設の基本設計について

資料1

A-3	1階平面図	南側 コンビニエンスストア、生鮮売場等の商業施設 大通り側 観光案内所、調剤薬局
-----	-------	---

		北側 コインランドリー、カフェ 駐車場 24台(思いやりスペース含)
A-4	2階平面図	主に医療系(クリニック) 4部屋 美容室 1部屋
A-5	3階平面図	敬和学園大学学生寮 ルームシェア(2人用) 9部屋 キッチン・コミュニティスペース(食事・談話・研 修・講習 等が可能)
A-6	4階平面図	敬和学園大学学生寮 ルームシェア(2人用) 11部屋 キッチン・コミュニティスペース(食事・談話)
A-7	屋上	室外機設置
A-8	立面図	行政棟と外観を同じようにするため、一部ガラス張り
A-9	断面図	高さ 約21.8m 2階は渡り廊下で行政棟とつなぐ

※行政棟と同時期の完成(平成28年3月末)を目指す。

現在は実施設計の段階 平成27年1月着工予定。

(2) 管理運営ワークショップ通信について

資料2 第4回ワークショップでの主な意見紹介(管理運営ワークショップ通信 No.3)

議事に先立つての専門委員からの意見・要望

- ① 10月25日に今回の専門委員会の資料を送付されたが、所属する会として集まって検討する時間がなかった。もっと早く送って欲しい。
- ② ワークショップで出た意見は複合施設としての管理運営についてである。
この専門委員会は、図書館としてどうするか、どういう図書館にしていけるのかという視点で話し合うべきである。図書館の方針の策定が先に必要である。
ここで話し合われたことが、どんな形となって現われたのか、報告があれば混乱が生じない。

議事 駅前複合施設における図書館の管理運営方針等について

検討項目	項目詳細	専門委員意見
① サービス計画について	実現・協力可能なサービス	◆ 広報活動の協力 ◆ 図書館主催の講演会、学習会に積極的に参加 ◆ 各種講座の開催 ・ 古文書解説の講座

		・ 中世の歴史に関する講座 ・ 歴史に興味を持っている高校生・大学生を対象とした講座 ◆読み聞かせの実施 ・ 小学校への読み聞かせ ・ 児童クラブへの支援と読み聞かせ ・ 特別な支援の必要な子どもたちの学級での読み聞かせ ・ 図書館内、多目的室(おはなし)での読み聞かせ ・ 高齢者に対するサービスとしての読み聞かせ (各地域のふれあいルームへの支援) ◆対面朗読のサービス(どの部屋で行えるのか) → 事務局返答:3階に朗読室がある ◆分館等に来館される人に読み聞かせの紹介 ◆新発田の昔話の語り ◆大学と連携し、役割分担による資料の収集
	図書館にやって欲しいサービス	◆各種講座の開催 ・ 読み聞かせ講座(多彩な年代を対象として) ・ 読み聞かせボランティア養成講座 ・ ボランティアスキルアップ講座 ・ 布絵本の作り方講座 ・ 定期的な講座の開催 ◆朗読のコツを教える講演会 ◆読書会 ◆本の面白さを市民に広めるような図書館 ◆新しい図書館だけでなく分館の利用者にもサービスが行き渡るようにして欲しい ・ 本を積んだバス(自動車文庫)が廻り、図書館に来られない人たちも本が借りられる ◆学校の図書室への支援 ◆レファレンスサービスの充実 ◆記録の保存と活用がしやすいようにコピー等のサービス ◆利用者を増やすための工夫、企画 ・ 本の借り方、貸出カードの登録の仕方、本の場所を案内するボランティアの配置 ・ 本の貸出に応じたスタンプラリー、シールを集めてパズルを完成させる等の企画

		・ 月間のテーマ(人物)を決めてクイズを出し、正解者には認定証等を渡す ◆図書館に用事がなくても足が運べるような心地良い空間があると良い ◆高齢者に対して宅本(配達)をして欲しい ◆必要な本の希望を取って欲しい
② 情報通信技術等について	電子書籍の利用について	◆電子書籍よりも図書の充実、人材の確保が先である 市民のニーズが高まってきたら導入を検討すべき
	インターネットの利用について	◆課題解決型の図書館に向けての変化を考えるのであれば、インターネットを有効に使える図書館になるべき ・ コンシェルジュを置くと考えているようなので、レファレンスを越えた、インターネット検索の助力ができるように ・ ホームページの運用、ネットからのアクセスの強化、ツイッターを活用した最新情報の双方向からの情報交換 ◆分館をつなぐハブ機能の役割 ◆他市に負けない図書館を目指すのであれば、館内の無線LANが必要なのではないかな ◆ペースメーカー装着の方への配慮が必要
③ 備品計画について	利用団体で望む備品	◆各団体ごとのメールボックス、ロッカー(大型) ◆ボランティア専用の部屋が必要 ◆コピー機 ◆スケジュールボード(ホワイトボード)
	市に整備して欲しい備品	◆盗難対策はどのように考えているか → 事務局返答:予算が確保できればタグを付けたい ◆防犯カメラを設置したり、監視員を置いたりするのか → 事務局返答:検討している ◆多目的室(おはなし)の部屋について ・ 窓にカーテンが欲しい ・ 壁に飾りつけができるように ・ 紙芝居を乗せるテーブル ・ 大型絵本用のテーブル ・ 小型書架(移動できるもの)
④ その他		◆議事が「管理運営方針等について」となっているが、方針についての討議が先にされるべきではないか ◆分館とのネットワーク計画はどうなっているか → 事務局返答:紫雲寺分館、豊浦分館もつながる予定で

		あり、11月4日の広報でお知らせする予定 ◆持ち帰って会で話し合った結果は図書館に提出して良いか → 事務局返答: 次回の専門委員会で発表して欲しい ◆第1回のサポート組織についての問題を話し合いたい ◆新潟市立図書館ビジョンは非常に良く、各団体から出た意見が網羅されている ◆新発田市立図書館も暫定的なものでも良いので事務局でビジョンを作成して欲しい ◆そのビジョンを中心とした視点で意見交換ができると会議がまとまったものになる ◆専門委員会は時間通り終わったことがないので、委員長を含めて時間通りに審議ができるよう事前準備を十分してもらいたい ◆各団体の事前調整が必要であれば、団体に事前照会していただき、事務局でまとめた上で会議を開くなど、しっかりとした対応をお願いしたい
--	--	---

連絡事項(事務局)

今回出た意見に基づき、次回会議に向けてしっかり準備し、委員長、副委員長と相談のうえ、開催の日程は改めて連絡する。